財務省第２入札等監視委員会第２回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成２０年４月９日（水）　仙台国税局３階会議室	
委員	委員長　高田　敏文（東北大学大学院経済学部研究科会計大学院教授） 委　員　青木　雅明（東北大学大学院経済学部研究科会計大学院教授） 委　員　齋藤　　誠（東北学院大学法学部教授）	
審議対象期間	平成１９年１０月１日（月）～ 平成１９年１２月３１日（月）	
抽出案件	６件	（備考）
競争入札（公共工事）	４件	契約件名：（19）南館住宅建物等解体撤去工事 契約相手方：大友建設株式会社 契約金額：69,300,000円 契約締結日：平成19年12月25日 担当部局：東北財務局総務部会計課
		契約件名：（H19）国有地（青森市外5箇所）測量等業務 契約相手方：株式会社大和コンサルタント 契約金額：1,512,000円 契約締結日：平成19年12月17日 担当部局：東北財務局青森財務事務所
		契約件名：能代税務署青葉宿舎浴室等改修工事 契約相手方：株式会社ハセベ 契約金額：37,590,000円 契約締結日：平成19年10月5日 担当部局：仙台国税局総務部営繕監理官
		契約件名：久慈税務署長内宿舎改修工事 契約相手方：林崎建設株式会社 契約金額：13,650,000円 契約締結日：平成19年10月22日 担当部局：仙台国税局総務部営繕監理官
随意契約（公共工事）	－件	
競争入札（物品役務等）	１件	契約件名：青色申告決算書等の発送代行業務（グループ1～3） 契約相手方 グループ1：メールカスタマーセンター株式会社 グループ2：株式会社仙台メール グループ3：佐川グローバルロジスティクス株式会社仙台支店 契約金額（単価契約） グループ1：81.90円ほか（見込総額　931,543円） グループ2：75.60円ほか（見込総額 7,624,135円） グループ3：72.45円ほか（見込総額10,260,980円） 契約締結日 グループ1：平成19年10月31日 グループ2：平成19年10月 9日 グループ3：平成19年10月 9日 担当部局：仙台国税局総務部会計課
随意契約（物品役務等）	１件	契約件名：年金受給者に対する確定申告説明会等委託業務 契約相手方：東北税理士協同組合 契約金額：20,265,000円 契約締結日：平成19年12月5日 担当部局：仙台国税局総務部会計課
応札（応募）業者数1者関連	１件	※随意契約（物品役務等）に同じ

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意　見　・　質　問	回　　答
	次葉のとおり	次葉のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意　見　・　質　問	回　　答
【事案１】 契 約 件 名：（19）南館住宅建物等解体撤去工事 契約相手方：大友建設株式会社 契 約 金 額：69,300,000円 契約締結日：平成19年12月25日 担 当 部 局：東北財務局総務部会計課	
ＰＣＢの保管処理費用分を減額する変更契約を行っているが、相手方からＰＣＢが含まれていないとの報告があったのか。 また、虚偽の報告があった場合の対応は。	相手方から調査の結果、ＰＣＢは含まれていないとの報告を受けている。 なお、ＰＣＢが含まれている場合は、仕様書で、「ＰＣＢ専用の収納箱に保管し、山形財務事務所に運搬の上、事務所内の指定場所に保管すること」となっているため、チェック可能であり虚偽の報告はあり得ない。
本件は低入札となっており、同種業務の全国の落札状況も同様の傾向にあるとのことだが、そもそも予定価格が高すぎるのではないか。	低入札の理由は、解体業者が産廃処理業務を兼ねている場合、産廃処理業者との協力関係、産廃処理場までの運搬距離及び建設機械の保有状況並びに企業努力によるものなど区々である。 予定価格の積算に当っては、業者によるこれら特殊事情は考慮していないので、予定価格は適切なものであると考えている。
上位３者の入札金額が規則正しいが、なぜなのか。非常に作為的なものを感じる。	契約相手方以外からは、見積書等を徴取しておらず、低入札ということもあり、そこまでは分析していない。
【事案２】 契 約 件 名：（H19）国有地（青森市外5箇所）測量等業務 契約相手方：株式会社大和コンサルタント 契 約 金 額：1,512,000円 契約締結日：平成19年12月17日 担 当 部 局：東北財務局青森財務事務所	
予定価格が、約400万円程度に対し、契約金額が約150万円であるが、この金額で十分な測量ができるのか。	予定価格が1,000万円を超えないため正式な調査は行っていないが、業者から「業界の競争が激しく、特に冬季間は仕事が少なく、受注確保のため是が非でも落札したかった。」と、企業努力による旨の回答を得ている。 また、測量機器などを揃えてしまうと、あとは人件費しか掛からないということもあり、仕様書どおりの履行が確保されるものと判断している。
【事案３】 契 約 件 名：能代税務署青葉宿舎浴室等改修工事 契約相手方：株式会社ハセベ 契 約 金 額：37,590,000円 契約締結日：平成19年10月5日 担 当 部 局：仙台国税局総務部営繕監理官	
予算決算及び会計令第86条に基づく調査で使用している経営分析表は形式上のものなのか。	財務諸表に基づいての形式判断となる。

意　見　・　質　問	回　　答
【事案４】 契 約 件 名：久慈税務署長内宿舎改修工事 契約相手方：林崎建設株式会社 契 約 金 額：13,650,000円 契約締結日：平成19年10月22日 担 当 部 局：仙台国税局総務部営繕監理官 他の事案では、予定価格よりかなり下回っているが、この事案はなぜ高いのか。 また、１者しか応札していないが何か特殊な事情があるのか。	
久慈だと八戸あたりの業者は参加しないのか。	他県の事案と比べても、岩手県の事案は落札率が高くなっているので、地域性が考えられる。 なお、１者しか応札していないのは、他の工事等があり参加しなかったものと考えられる。 また、八戸の業者も参加可能ではあると考える。しかし、大手の企業であれば、毎日ホームページをチェックするらしいが、中小企業ではそこまでしていないようであり、入札を行うという情報をキャッチしていないということもあり得る。 おって、今回参加した業者は、業界新聞で知ったとのことであった。
他の省庁の委員会でも情報発信の仕方について議論したが、やはり業界新聞に対する依存度が高かった。 業界新聞への情報提供について検討してみてはどうか。	次回の定例会議までに状況を把握する。
【事案５】 契 約 件 名：青色申告決算書等の発送代行業務（グループ1～3） 契約相手方 グループ1：メールカスタマーセンター株式会社 グループ2：株式会社仙台メール グループ3：佐川グローバルロジスティクス株式会社仙台支店 契 約 金 額（単価契約） グループ1：81.90円ほか（見込総額　931,543円） グループ2：75.60円ほか（見込総額 7,624,135円） グループ3：72.45円ほか（見込総額10,260,980円） 契約締結日 グループ1：平成19年10月31日 グループ2：平成19年10月 9日 グループ3：平成19年10月 9日 担 当 部 局：仙台国税局総務部会計課	
前年の参加業者はどうだったのか。	１者は、今年初めての業者である。
グループごとに落札業者がきれいに分かれているが、長期的な観察が必要と思われる。	結果として、グループごとに３者が受託することになったが、発送代行業務に関しては、郵便物の月間利用通数により割引が受けられることとなるため、郵便の利用が多く、かつ発送物を保管する倉庫が必要となることから、業務可能な業者が少ないのが現状である。

意　見　・　質　問	回　　答
【事案６】 契 約 件 名：年金受給者に対する確定申告説明会等委託業務 契約相手方：東北税理士協同組合 契 約 金 額：20,265,000円 契約締結日：平成19年12月5日 担 当 部 局：仙台国税局総務部会計課	
税理士協同組合以外に受託できる団体はあるのか。	公認会計士なども可能であるが、税理士資格を有する者を必要数確保するのは、困難と思われる。
実質的に税理士協同組合以外が受託できないのであれば、社会的役割という点では、何か別の枠組みで実施する方がよいのではないか。	公共調達の透明性の観点から入札を実施しているものである。
【検討事項等】 １　入札情報の開示の在り方についてより一層、業者が参加できる素地を広げるよう検討いただきたい。 ２　同一業務の１者入札等については、入札(契約)状況を複数年監視していく必要があると考える。	次回の定例会議までに方向性を検討する。